

備蓄庫

アウルでは災害に備えて、3食×3日の食料を入居者様の人数分備蓄庫に保存しています。ミネラルウォーター、アルファ米、白がゆ、インスタントみそ汁、レトルトカレー、野菜や果物の缶詰、ウインナーなど、同じ食事が続かないような構成です。また、懐中電灯やカセットボンベ、カセットガストーブなどの道具も常備しています。

9月6日の北海道胆振東部地震では、食料備蓄の半分ほどを使用しました。アウルでは電気と水道の回復が震災当日の夕方と比較的早かったものの、食材の流通が元に戻るまでに日数を要し、献立予定表通りの食事を提供できるようになるまで1週間ほどかかりました。

聞けば、震災後に一汁一菜が続いた施設もあったそうです。アウルでは栄養士が創意工夫し手元の食材でさまざまな献立を提供。震災を乗り越えるには備蓄はもちろん、スタッフの力が大切だと再認識する機会となりました。



いやし課見習い補
りりこ&ここな



落ち葉で遊んでみた りりこ(左)&ここな(右)

スタッフ リレーエッセー

アウルの団結力 ～地震時の裏話～

9月6日午前3時7分、札幌を最大震度6弱の地震が襲いました。自宅で寝ていた私は揺れが落ち着いてからアウルコートへ向かい、到着したのは4時頃。非常灯がつき、警報が鳴り響いている中、夜勤者はすでに全居室をラウンドし、入居者様全員の安全を確認していました。



看護科長 中嶋美佐子

停電、断水の状況下、恐怖と不安を抱えている入居者様に安心感を与えられるよう、近所に住むスタッフへ応援要請。北区から自転車でも来たり、4ℓの水を背負い汗だくで5km程歩いてきたり、自主的に駆けつけた人もいました。臨機応変に対応したスタッフのお陰で、入居者様全員の安全を守れたのだと思います。これも強いアウル愛のもと一致団結した証。今後何があっても、私たちならきっと乗り越えられる!!と確信しています。

●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)

アウルコート真駒内

〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3
TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133
入居相談受付中 ☎0120-916-768

- 交通機関
- 地下鉄南北線「真駒内」駅下車
 - じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗車(約5分)「南町4丁目」下車(徒歩約4分)

アウルコート真駒内 検索 <http://www.owlcourt.jp>



ふくろうの家 だより

その45
2018年11月

●発行/株式会社私の青い空
●編集/アウルコート真駒内広報室 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3 ☎011-588-1122



平成30年、秋

代表取締役 武田 治信

今年も暑い夏でした。全国的には埼玉県熊谷市で41.1度の最高気温を記録しました。これも地球温暖化の影響でしょうか。北海道はそれほどにはなりません、今後は北国といえども暑さ対策を万全に過ごすことが大事と思います。皆様どうぞ自愛くださいませ。

この『ふくろうの家だより』が皆様へ届くのは秋冷の頃となります。アウルコート真駒内では8月4日に毎年恒例の夏祭りを開催いたしました。工夫を凝らしたお祭りメニューで食事を召し上がっていただき、職員の余興やボランティアの方の芸で、短い夏のひと時を楽しんでいただきました。

夏の高校野球は第100回記念大会となりました。松下幸之助氏創業の松下電機器具製作

所も、ナショナル、パナソニックと社名を変えながら100年。今年はいくつもの歴史の節目の年でもあります。明治維新からは150年です。幕末、明治に活躍した坂本龍馬により薩長同盟が結ばれ、江戸幕府が大政奉還し、明治政府が誕生。吉田松陰が尊王攘夷を説き、弟子の高杉晋作、木戸孝允、伊藤博文ら長州藩の人たちにより明治政府が動き始めました。そこに薩摩の島津斉彬、西郷隆盛が現れ、この国を西洋化、近代化へと繋げていきます。この流れは脈々と現代に続き、山口県、鹿児島県出身の総理が多い所以でしょうか。

季節は立秋、処暑が過ぎ白露へと移ります。新元号に思いを巡らす、平成最後の秋です。

もぎたて夏野菜

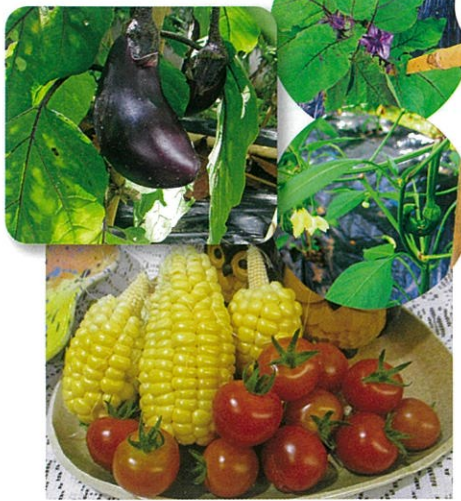
アウルコート真駒内の裏庭にある畑「アウル農園」では、毎年夏野菜を収穫して、旬の味を楽しんでいます。11年前の造成当初は、長く農業を営んできた入居者様を職員が手伝いながら野菜づくりをしていましたが、現在はシルバー人材センターから経験者に来てもらい、春の

シート掛けから収穫までのお世話をしてもらっています。

今年はいちご、ミニトマト、桃太郎トマト、ナス、ししとう、ナンバンなどを育てました。久しぶりに植えたとうきびはあまり大きくなりませんでした。粒は大きくおいしかったとのこと。大葉は豊作で、毎日の献立にも何度か登場しました。



7-8月
花が咲き、
野菜が実る
真夏の農園



収穫祭バイキング

アウル農園の収穫を祝う収穫祭は、毎年9月の恒例イベントです。開設当初の収穫野菜を味わう行事から少しずつ内容を変え、現在では広く秋の味覚をバイキングで楽しむ行事となっています。

今年の収穫祭は9月28日(金)に行われました。メニュー

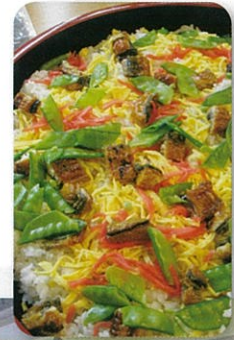
は14種・デザート6種の全20種で、前回人気だったうなぎちらしは継続し、今年は新たにアスパラベーコンが登場。好きな料理を好きな量だけ取り分けられるバイキング形式なので、皆さん普段よりもたくさん食べてくださいました。キッシュやデザートなどは小ぶりにし、いろんな味を



5-6月
土に
シートを張って
土壌づくり



9月
ツヤツヤと
新鮮なもぎたて
野菜



収穫祭
和洋中の
おいしい料理が
ズラリ

少しずつ味わえる構成も好評でした。

9月は地震の影響で外出を控えたこともあり、収穫祭には入居者様全員が参加。いつもより喜びの声が多く聞かれ、職員一同もうれさが倍増する1日となりました。

今年もアウル農園の新鮮野菜を味わいました おいしい野菜、楽しい収穫祭



アウルの四季彩々日記



●8/25(土) 地域の福祉まつりに参加

地域の商店や福祉事業所などが主催し、今年で10回目を数える福祉まつり。周辺の方々が大勢集うこのイベントにアウル職員も参加。入居者様も歩いて遊びに来てくれました。



●8/4(土) 水戸黄門も登場の夏祭り

夏祭り恒例のお楽しみは余興。今年はボランティアさんがマジックと腹話術、職員が水戸黄門の寸劇を披露。気合いの入った芝居が会場を沸かせ、後日も話のタネになりました。



●8/29(水) デパート外出で東急へ

アンケートで行き先を決めるデパート外出で、今年は東急百貨店へ。デパートの華やかさと買い物を楽しみ、昼食は10階レストラン街でウナギや天ぷらに舌鼓を打ちました。



●9/13(木) 今年も楽しかった敬老会

震災から間もない時期にもかかわらず、今年も真駒内の保育所「遊・Wing」の子どもたちが来訪。太鼓演奏と組体操が披露され、入居者様の似顔絵などがプレゼントされました。そのお礼に入居者様と職員がハーモニカを演奏。一時入院されていた方ただけに、会場の喜びもひとしおでした。

